

教育・研究業績書

診療科名

越谷病院消化器内科

<教員の紹介>

教授 桑 山 肇  
 准教授 高 橋 盛 男  
 准教授 鈴 木 壺 知  
 講師 高 田 洋

**I 教育活動**

教育実践上の主な業績	年月	概要
<b>① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）</b>		
研修医・レジデント教育	2004年5月～現在	消化器疾患および肝胆膵疾患の診断と治療を具体的に症例を通じて学ぶ。特に消化器疾患においては消化管造影検査、消化管内視鏡検査、腹部超音波検査などの検査手技を実際的に個々が自発的に興味を持って修得するように教育指導する。急性疾患、慢性疾患の治療としての薬物療法だけではなく栄養療法などについても修得する。病棟業務では研修医、レジデントの受け持ち患者の診察を共に行い、症例ごとの問題点について研修医、レジデントと一緒に検討する。
<b>② 作成した教科書、教材、参考書</b>		
作成教材		内科疾患の診断基準 消化器疾患診療ガイドライン 肝がんの診療と治療 最新の研究動向
<b>③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項</b>		
研修医・レジデント	2004年5月～現在	毎週火曜日の回診では研修医、レジデントから担当症例の経過や方針を聞き、診断や治療上の問題点について具体的に議論する。また毎週金曜日朝には、研修医、レジデントの受け持ち症例を発表させる。この際、個々の症例の病態と問題点の把握を重畳する。さらに治療方針について検討を行い、受け持ち以外の研修医、レジデントにも参考になるように指導する。臨床医として知っておくべき最新の文献紹介も各自で行うように指導している。

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院消化器内科	教授	桑山 肇	大学院の研究指導担当資格 有
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
<p>日本潰瘍学会理事</p> <p>日本消化器病学会財団評議員</p> <p>日本消化器内視鏡学会社団評議員</p> <p>日本ヘリコバクター学会監事</p> <p>日本消化管学会監事</p> <p>日本消化吸収学会評議員</p>			
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
【学位論文】			
【著 書】			
欧文			
1. Takahashi M, Katayama Y, Suzuki K, Tajima A, Oka S, Koizumi K, Ichimura H, <u>Kuwayama H</u> : PPI-test. Nippon Rinsho, 65 : 5, 852-863, 2007.			
和文			
1. <u>桑山肇</u> : クリニカルパスの効用. 消化器内視鏡止血術, Medical View, 20-24, 2004.			
2. <u>桑山肇</u> , 杉山里美: 急性膵炎患者の看護. クリニカルスタディ 25, 5, 45-51, 2004.			
3. <u>桑山肇</u> : Mallory Weiss症候群. 消化器病診療一良きインフォームド・コンセントに向けて, 74-76, 2004.			
4. <u>桑山肇</u> , 西木良一: 消化管出血に対する薬物療法の効果. 救急医学 28, 649-653, 2004.			
5. <u>桑山肇</u> : 出血性潰瘍におけるNSAIDsとH. pyloriの関与. 医学のあゆみ 210, 387-395, 2004.			
6. <u>桑山肇</u> : すい臓&肝臓のパワーアップ生活法. おもいきりテレビ 26, 22-26, 日テレムック, 2004.			
7. 鈴木孝知, 高田洋, 高橋純子, <u>桑山肇</u> : 慢性肝疾患患者における胃食道逆流症の検討. 肝臓 45, 507-508, 2004.			
8. <u>桑山肇</u> , 飯室護, 岡茂樹, 野崎美和子: Virtual Endoscopyの基本. 消化器内視鏡 16, 518-520, 2004.			
9. <u>桑山肇</u> : カプセル内視鏡. 消化器内視鏡 16, 1363-1365, 2004.			
10. <u>桑山肇</u> , 市村博紀: EUS-FNAにおける課題と問題点. 消化器内視鏡 16, 1332-1336, 2004.			
11. <u>桑山肇</u> : 胃MALTリンパ腫の新たな考え方, 臨床的立場より. 消化器内視鏡 16, 1376-1383, 2004.			
12. <u>桑山肇</u> : 消化器内視鏡の新しい展開ーバーチャルエンドスコープとカプセル内視鏡. シミュレーション内科-上部消化管を探る 43-47, 2004.			
13. <u>桑山肇</u> : 便潜血試験の効用. 総合臨床 59, 3113-3116, 2004.			
14. <u>桑山肇</u> , 小原勝敏, 林星舟, 屋嘉比康治: 食道静脈瘤の破裂と酸分泌. Current Review of Gastroenterology10 : 2-7, 2005.			
15. <u>桑山肇</u> : びらん性胃炎. 消化器内視鏡 17 : 1391-1397, 2005.			
16. <u>桑山肇</u> , 朝山雅子, 岩瀬輝彦, 小川滋彦: 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)とその管理. Current Review of Gastroenterology12 : 2, 2-7, 2007.			

17. 桑山肇: GERD・食道裂孔ヘルニア わが国における胃食道逆流症の診断と治療 現状と問題点. 消化器内視鏡 19 : 10, 1429-1435, 2007.
18. 飯室護, 野崎美和子, 桑山肇, 遠田譲:【当直医のための消化器救急診療マニュアル】 その他 消化管出血における緊急Interventional Radiologyの実際. 消化器内視鏡 20 卷 6 号 966-970, 2008.
19. 桑山肇:【超高齢者の内視鏡】 超高齢者と消化器内視鏡 バイオエシックスを踏まえた適応と禁忌. 消化器内視鏡 20 卷 11 号 1625-1632, 2008.

## 【原 著】

### 欧文

1. Kuwayama H, Luk GL, Yoshida S, Nakamura T, Kudo M, Uemura N, Harasawa S, Kaise M, Sanuki E, Haruma K, Inoue M, Shimatani T, Mieno H, Kawanishi M, Watanabe H, Nakashima S, Nakazawa S: Efficacy of a low-dose omeprazole-based triple therapy regimen for *Helicobacter pylori* eradication independent of cytochrome P450 genotype. The Japanese MACH study. Clin Drug Invest 25:293-305, 2005.
2. Sakamoto C, Sugano K, Ota S, Sasaki N, Takahashi S, Yoshida Y, Tsukui T, Osawa H, Sakurai Y, Yoshino J, Mizokami Y, Mine T, Arakawa T, Kuwayama H, Saigennji K, Yakabi K, Chiba T, Shimosegawa T, Sheehan JE, Perez-Gutthann S, Yamaguchi T, Kaufinan DW, Sato T, Kubota K, Terano A: Case-control study on the association of upper gastrointestinal bleeding and nonsteroidal anti-inflammatory drugs in Japan. Eur J Clin Pharmacol. 62:765-772, 2006.
3. Sohma R, Takahashi M, Takada H, Takada H, Kuwayama H: Protective effect of n-3 polyunsaturated fatty acid on primary culture of rat hepatocytes. J Gastroenterol Hepatol, 22 : 11, 1965-1970, 2007.
4. Kuwayama H, Asaka M, Sugiyama T, Fukuda Y, Aoyama N, Hirai Y, Fujioka T: Rabeprazole-based eradication therapy for *Helicobacter pylori*: a large-scale. Aliment Pharmacol Ther, 25 : 9, 1105-1113, 2007.
5. Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Ichimura H, Oka S, Takada H, Kuwayama H: Measurement of serum branched-chain amino acids to tyrosine ratio level is useful in a prediction of a change of serum albumin level in chronic liver disease Hepatol Res 2008 38:267-272, 2008.
6. Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Takada H, Nishiki R, Ichimura H, Oka S, Kuwayama H: Effect of symptomatic gastroesophageal reflux disease on quality of life of patients with chronic liver disease Hepatol Res 2008 38:335-339, 2008.
7. Tajima A, Koizumi K, Suzuki K, Higashi N, Takahashi M, Shimada T, Terano A, Hiraishi H, Kuwayama H: Proton pump inhibitors and recurrent bleeding in peptic ulcer disease. J Gastroenterol Hepatol. 2008 Dec;23 Suppl 2:S237-241, 2008.

### 和文

1. 大木智子, 鈴木孝知, 高橋純子, 高田 洋, 今井みゆき, 麓 美希, 桑山 肇: 慢性肝疾患患者の身体計測値の検討栄養-評価と治療-21 (6) : 569-571, 2004.
2. 高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 桑山肇, 相馬良一「 $\omega$ 3 多価不飽和脂肪酸の胃粘膜上皮細胞修復に与える影響」『Dokkyo J Med Sci』Vol. 31, No. 3, 217-223 2004.
3. 権重好, 入江嘉仁, 今関隆雄, 西木良一, 高橋盛男, 桑山肇:【今,改めて胃酸関連疾患を見直す】 心臓血管外

科領域における周術期の酸分泌. 消化器内視鏡 17 巻 3 号: 375-381, 2005.

4. 小泉和人, 岡茂樹, 高田博信, 高橋盛男, 桑山肇: Buerger病と同時発症した重篤な大腸炎. 消化器の臨床 7 巻 4 号: 437-440, 2004.
5. 高橋盛男, 岡茂樹, 高田博信, 高田洋, 福田和仙, 黄海文昌, 相馬良一, 桑山肇: ラット酢酸漿膜内注入大腸炎モデルによる胃粘膜防御因子製剤の注腸投与有効性の比較検討. 潰瘍 32: 2, 149-153, 2005.
6. 片山裕視, 高橋盛男, 福田和仙, 相馬良一, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 桑山肇: ラット実験潰瘍性大腸炎治療に対するn3/n6 多価不飽和脂肪酸の最適摂取割合. 潰瘍 33: 222-224, 2006.
7. 片山裕視, 高橋盛男, 和田真理子, 相馬良一, 福田和仙, 岡茂樹, 桑山肇: ラット大腸酢酸潰瘍モデルによる粘膜防御因子製剤経口投与の効果. 潰瘍 35 巻 2 号 184-187, 2008.

### 【症例報告】

和文

1. 片山裕視, 高橋盛男, 鈴木一義, 桑山肇: Von Willebrand病に合併した出血性過形成ポリープの 1 例. Progress Digestive Endoscopy 69:70-71, 2006.
2. 岡茂樹, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 鈴木孝知, 桑山肇: 広範な大腸粘膜剥離をきたした虚血性大腸炎の 1 例. Progress of Digestive Endoscopy. 69 巻 1 号 Page92 2006.
3. 鎌田昌和, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 田嶋章弘, 高田洋, 鈴木孝知, 高橋盛男, 桑山肇: nfliximabが著効したクローン病蛋白漏出症の 1 例. Progress of Digestive Endoscopy: 71 巻 1 号 Page102, 2007.

### 【総 説】

和文

1. 鈴木孝知, 高橋純子, 高田洋, 桑山肇: 疾患と骨粗鬆症 ② 消化器疾患 ②慢性肝疾患. THE BONE, 18, 303-306, 2004.
2. 桑山肇: 胃酸分泌機構と胃内分泌機構、胃免疫機構、胃粘膜防御機構. 消化器内視鏡 17: 275-282, 2005.
3. 桑山肇: H. pylori陰性潰瘍の最新薬物治療. Medicament News. 4-5:1855, 2005.
4. 桑山肇: 消化管出血に対する最新の薬物治療法. 消化器内視鏡 17: 1929-1935, 2005.
5. 鈴木孝知, 桑山肇: 続発性骨粗鬆症-胃切除、炎症性腸疾患、肝疾患など. 総合臨床 54: 2897-2903, 2005.
6. 飯室護, 岩崎功明, 川島実穂, 古田雅也, 野崎美和子, 遠田譲, 椎名徳彦, 諏訪和明, 杉本大輔, 高橋盛男, 桑山肇: IVRを用いた消化管出血に対する診断と止血術-特に内視鏡診断・止血術が困難な十二指腸球部以深および小腸出血を中心に. 消化器内視鏡 17: 1693-1696, 2005.
7. 桑山肇: 内視鏡と微小血管研究のこれから. 消化器内視鏡 17: 2057-2060, 2005.
8. 鈴木孝知, 高田洋, 桑山肇: 肝炎治療の最前線-その実際 副腎皮質ステロイドによる治療. 消化器の臨床vol.9 No. 3:317-319, 2006.
9. 鈴木孝知, 桑山肇: VIII 糖代謝 肝疾患に伴う糖尿病 内分泌症候群 (第2版) 別冊日本臨症 新領域別症候群シリーズno. 3:79-81: 2006.
10. 鈴木孝知, 高田洋, 桑山肇, 内田幸江, 奥住裕二, 川村憲弥: 慢性肝疾患における血清アルブミン値測定の問題. 栄養評価と治療 23: 521-523, 2006.

11. 鈴木尙知, 桑山 肇 : 骨粗鬆症と代謝性骨疾患. 実地医家のための二次性骨粗鬆症と代謝性骨疾患を疑う患者の管理のポイント-慢性肝臓疾患-. Medical Practice24 : 481-485, 2007.
12. 鈴木尙知, 桑山 肇 : QOL向上を目的とした栄養管理の実際, 消化器の臨床vol.10 No.2 ; 186-190, 2007.

【その他】

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院消化器内科	准教授	高橋 盛男	大学院の研究指導担当資格 有
<b>II 学会等および社会における主な活動</b>			
日本潰瘍学会評議員 日本消化器内視鏡学会関東支部会評議員			
<b>III 研究活動</b>			
<b>【学位論文】</b>			
岡茂樹, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, <u>高橋盛男</u> : 内視鏡的大腸ポリープ切除術の術後出血の危険因子に関する臨床的研究. Gastroenterological Endoscopy47:2503-2515, 2005.			
<b>【著 書】</b>			
和文			
1. 高田博信, 岡茂樹, <u>高橋盛男</u> : 内視鏡的胃瘻造設術(PEG)内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の合併症. 消化器の臨床, 7, 147-151, 2004.			
2. 高田博信, <u>高橋盛男</u> , 高田洋, 桑山肇, 相馬良一: 「 $\omega$ 3 多価不飽和脂肪酸の胃粘膜上皮細胞修復に与える影響」. Dokkyo J Med Sci, Vol. 31, No. 3: 217-223. 2004.			
3. <u>高橋盛男</u> , 西木良一, 市村博紀, 高田博信, 桑山肇: 【胃食道逆流症(GERD) 診断・治療の進歩】 臨床 検査・診断法の進歩 PPI-testの診断的意義. 日本臨床 62 巻 8 号 1465-1474, 2004.			
4. 岡茂樹, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, <u>高橋盛男</u> : 内視鏡的大腸ポリープ切除術の術後出血の危険因子に関する臨床的研究. Gastroenterological Endoscopy47:2503-2515, 2005.			
5. <u>高橋盛男</u> , 安齋敏巳, 岡茂樹, 高田博信, 桑山肇: 【ここまできた小腸内視鏡】 イレウスチューブを用いた総合的小腸検査法. 消化器内視鏡 17 巻 4 号 446-450, 2005.			
6. <u>高橋盛男</u> , 片山裕視, 鈴木一義, 田嶋章弘, 岡茂樹, 小泉和人, 市村博紀, 桑山肇: 【胃食道逆流症(GERD) 非びらん性逆流症(NERD)を含めて】 GERDの検査・診断 PPI-test. 日本臨床, 65:5, 852-863, 2007.			
<b>【原 著】</b>			
欧文			
1. Sohma R, <u>Takahashi M</u> , Takada H, Takada H, Kuwayama H: Protective effect of n-3 polyunsaturated fatty acid on primary culture of rat hepatocytes. J Gastroenterol Hepatol, 22: 11, 1965-1970, 2007.			
和文			
1. 高田博信, <u>高橋盛男</u> , 岡茂樹: 食道粘膜細胞修復におけるHGF(Hepatocyte Growth Factor)の役割とNSAIDs(Non-steroidal anti-inflammatory drugs)の作用. Dokkyo Journal of Medical Sciences31:1, 79-89, 2004.			
2. 権重好, 入江嘉仁, 今関隆雄, 西木良一, <u>高橋盛男</u> , 桑山肇: 【今,改めて胃酸関連疾患を見直す】 心臓血管外科領域における周術期の酸分泌. 消化器内視鏡 17 巻 3 号 375-381, 2005.			
3. 小泉和人, 岡茂樹, 高田博信, <u>高橋盛男</u> , 桑山肇: Buerger病と同時発症した重篤な大腸炎. 消化器の臨床 7 巻 4			

号 437-440, 2004.

4. 高橋盛男, 岡茂樹, 高田博信, 高田洋, 福田和仙, 黄海文昌, 相馬良一, 桑山肇: ラット酢酸漿膜内注入大腸炎モデルによる胃粘膜防御因子製剤の注腸投与有効性の比較検討. 潰瘍 32 : 2, 149-153, 2005.
5. 片山裕視, 高橋盛男, 福田和仙, 相馬良一, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 桑山肇: ラット実験潰瘍性大腸炎治療に対するn3/n6 多価不飽和脂肪酸の最適摂取割合. 潰瘍 33 : 222-224, 2006.
6. 片山裕視, 高橋盛男, 福田和仙, 相馬良一, 鈴木一義, 岡茂樹, 桑山肇: ラット大腸酢酸潰瘍モデルによる粘膜防御因子製剤経口投与の効果. 潰瘍 35 : 2, 184-187, 2008.

## 【症例報告】

和文

1. 高橋盛男: 今月のIMAGE 過形成癌. 消化器の臨床 7 巻 1 号, 2004.
2. 高橋盛男: 今月のIMAGE 大腸の脂肪腫. 消化器の臨床 7 巻 3 号 312, 2004.
3. 高橋盛男: 十二指腸のGIST. 消化器の臨床 7 巻 4 号 332, 2004.
4. 高橋盛男: 進行胃癌に対する内視鏡的APC療法例(利点と問題点). Progress of Digestive Endoscopy 66 巻 1 号 62, 2004.
5. 高橋盛男: 今月のIMAGE 大腸悪性リンパ腫. 消化器の臨床 8 巻 3 号 371, 2005.
6. 高橋盛男: 十二指腸憩室からの出血: 消化器の臨床 8 巻 4 号 490, 2005.
7. 高橋盛男: ファーター乳頭部への腎癌転移. 消化器の臨床 8 巻 6 号 714, 2005.
8. 片山裕視, 高橋盛男, 鈴木一義, 桑山肇: Von Willebrand病に合併した出血性過形成ポリープの 1 例. Progress Digestive Endoscopy 69:70-71, 2006.
9. 高橋盛男: 食道に穿破した大動脈瘤破裂. 消化器の臨床 9 巻 1 号 89, 2006.
10. 高橋盛男: 今月のIMAGE Peutz-Jegher's typeの大腸ポリープ. 消化器の臨床 9 巻 2 号 196, 2006.
11. 岡茂樹, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 鈴木孝知, 桑山肇: 広範な大腸粘膜剥離をきたした虚血性大腸炎の 1 例. Progress of Digestive Endoscopy. 69 巻 1 号 92 2006.
12. 高橋盛男: 胞巣腺癌成分を含む巨大胃ポリープ. 消化器の臨床 9 巻 6 号 617, 2006.
13. 高橋盛男: DAVE (diffuse antral vascular ectasia) 焼灼治療後の粘膜変化. 消化器の臨床 10 巻 2 号 216, 2007.
14. 鎌田昌和, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 田嶋章弘, 高田洋, 鈴木孝知, 高橋盛男, 桑山肇: nfliximabが著効したクローン病蛋白漏出症の 1 例. Progress of Digestive Endoscopy : 71 巻 1 号 102, 2007.
15. 高橋盛男: 表在型早期胃癌 0' I型. 消化器の臨床 11 巻 3 号 109, 2008.
16. 高橋盛男: 今月のIMAGE 大腸悪性リンパ腫を合併した胃悪性リンパ腫. 消化器の臨床 11 巻 5 号 58, 2008.
17. 高橋盛男: 今月のIMAGE 粘膜逸脱症候群(Mucosal Prolapse Syndrome:MPS). 消化器の臨床 11 巻 6 号 709, 2008
18. 高橋盛男: 今月のIMAGE 小腸鏡で見つかった小腸腫瘍. 消化器の臨床 11 巻 1 号 1, 2008.
19. 高橋盛男: 今月のIMAGE 十二指腸異所性胃粘膜. 消化器の臨床 12 巻 1 号 97, 2009
20. 高橋盛男: 今月のIMAGE 十二指腸球部癌. 消化器の臨床 12 巻 2 号 121, 2009.

## 【総 説】

## 【そ の 他】

## 教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院消化器内科	准教授	鈴木 壱知	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1994年～	日本微量元素学会評議員		
1995年～	日本消化器病学会関東支部会評議員		
1996年～	日本消化吸収学会評議員		
2005年～	日本病態栄養学会評議員		
2005年～	日本静脈経腸栄養学会評議員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著書】			
和文			
1. <u>鈴木壱知</u> , 高田洋, 高橋純子, 桑山肇: 慢性肝疾患患者における胃食道逆流症の検討. 肝臓, 45 (9) :507-508, 2004.			
2. <u>鈴木壱知</u> : 疾患別の診断・治療指針 b. 疾患別の治療 2) 脂肪肝 (NASH含む) (肝と栄養の会編) 実践 肝疾患の栄養療法p14-18 南江堂, 2006.			
3. <u>鈴木壱知</u> : 新しい肝疾患栄養療法の展開 3) 肝疾患のNST (肝と栄養の会編) 実践 肝疾患の栄養療法p199-201 南江堂, 2006.			
4. <u>鈴木壱知</u> : 肝臓病の話 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p18-23 メディカルレビュー社, 2006.			
5. <u>鈴木壱知</u> : 肝臓病の食事療法の目的 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p18-23 メディカルレビュー社, 2006.			
6. <u>鈴木壱知</u> : 肝臓病の食事療法の目的 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p80-85 メディカルレビュー社, 2006.			
7. 高橋純子, <u>鈴木壱知</u> : 健康補助食品と肝臓病 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p114-117 メディカルレビュー社, 2006.			
8. <u>鈴木壱知</u> : 肝臓病患者の日常生活 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p138-143 メディカルレビュー社, 2006.			
9. <u>鈴木壱知</u> : 獨協医科大学越谷病院の例 肝臓病のチーム医療と栄養療法-患者さんと医療スタッフのために-p160-165 メディカルレビュー社, 2006.			
10. <u>鈴木壱知</u> : Chapter11 I. 腸疾患に対する栄養管理 認定NSTガイドブック 2008 改訂版, p132-13 日本病態栄養学会編 メディカルレビュー社, 2008.			
11. <u>鈴木壱知</u> : II章 主要疾患の栄養管理-消化吸収障害-病態栄養専門医テキスト-認定専門医をめざすために- 編集 日本病態栄養学会 南江堂, 2009.			



## 【原 著】

欧文

1. Toda K, Miwa Y, Kuriyama S, Fukushima H, Shiraki M, Murakami N, Shimazaki M, Ito Y, Nakamura T, Sugihara J, Tomita E, Nagata C, Suzuki K, Moriwaki H: Erectile dysfunction in patients with chronic viral liver disease: its relevance to protein malnutrition. J Gastroenterol 40:894-900, 2005.
2. Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Ichimura H, Oka S, Takada H, Kuwayama H: Measurement of serum branched-chain amino acids to tyrosine ratio level is useful in a prediction of a change of serum albumin level in chronic liver diseases Hepatol Res 2008 38:267-272, 2008.
3. Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Takada H, Nishiki R, Ichimura H, Oka S, Kuwayama H: Effect of symptomatic gastroesophageal reflux disease on quality of life of patients with chronic liver disease Hepatol Res 2008 38:335-339, 2008.

和文

1. 大木智子, 鈴木壹知, 高橋純子, 高田 洋, 今井みゆき, 麓 美希, 桑山 肇: 慢性肝疾患患者の身体計測値の検討栄養-評価と治療-21:569-571: 2004.
2. 内田幸江、奥住裕二、藤代政浩、川村憲弥、柴崎光衛、ベ谷直人、鈴木壹知: 慢性肝疾患における栄養指標としての血清アルブミン値測定の問題点臨床病理 54: 1008-1012、2006.
3. 原なぎさ, 岩田加壽子, 岩佐元雄, 垣内雅彦, 加藤章信, 金野貴子, 鈴木壹知, 大木智子, 小島裕治, 太田真由美, 久保木真, 西 玉枝, 木村文昭, 佐原亜衣, 竹井謙之: 慢性肝疾患患者の健康食品摂取状況-多施設(6施設)調査の結果から-日本病態栄養学会雑誌 10: 287-294, 2007.

## 【症例報告】

和文

1. 岡茂樹, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 鈴木壹知, 桑山肇: 「広範な大腸粘膜剥離をきたした虚血性大腸炎の1例」『Prog Dig Endosc』 Vol. 69, No. 1:92, 2006.
2. 片山裕視, 高橋盛男, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 高田博信, 高田洋, 鈴木壹知, 桑山肇: 「Von Willebrand病に合併した出血性貧血の原因となった胃過形成ポリープの1例」. Prog Dig Endosc Vol. 69, No. 1:87, 2006.

## 【総 説】

和文

1. 鈴木壹知, 高橋純子, 高田洋, 桑山肇: 疾患と骨粗鬆症 2 消化器疾患 ②慢性肝疾患. THE BONE, 18:303-306, 2004.
2. 鈴木壹知, 桑山 肇: 各種疾患・病態にみられる耐糖能障害-慢性肝疾患-. 日本臨症 63 巻 増刊号 2 耐糖能障害-基礎・臨床研究の最新情報:288-290, 2005.
3. 川村憲弥, 鈴木壹知: 慢性肝疾患における血清アルブミン値の測定方法による差異. 医療と検査機器・試薬 28: 313-319, 2005.
4. 奥田隆史, 竹之下史, 鈴木壹知: 肝疾患 N S T への薬剤師の関わり. Medical forum CHUGAI 9:47-52, 2005.

5. 鈴木壹知, 桑山 肇: 骨粗鬆症の診療Update 続発性骨粗鬆症とその対策『消化器疾患-胃切除、炎症性腸疾患、肝疾患など』総合臨床 54: 2897-2903, 2005.
6. 鈴木壹知: NSTにおける栄養剤の知識医療と検査機器・試薬 29: 1-7, 2006.
7. 鈴木壹知: 慢性肝疾患と骨粗鬆症性差と医療vol.3 No.5:51-56, 2006.
8. 鈴木壹知, 高田 洋, 桑山 肇: 肝炎治療の最前線-その実際 副腎皮質ステロイドによる治療. 消化器の臨床vol.9 No.3:317-319, 2006.
9. 鈴木壹知, 桑山 肇: VIII 糖代謝 肝疾患に伴う糖尿病 内分泌症候群(第2版)別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズno.3:79-81, 2006.
10. 鈴木壹知, 高田 洋, 桑山 肇, 内田幸江, 奥住裕二, 川村憲弥: 慢性肝疾患における血清アルブミン値測定の問題. 栄養評価と治療 23: 521-523, 2006.
11. 鈴木壹知, 桑山 肇: 骨粗鬆症と代謝性骨疾患. 実地医家のための二次性骨粗鬆症と代謝性骨疾患を疑う患者の管理のポイント-慢性肝臓疾患-. Medical Practice24: 481-485, 2007.
12. 鈴木壹知, 桑山 肇: QOL向上を目的とした栄養管理の実際, 消化器の臨床vol.10 No.2:186-190, 2007.

## 【その他】

和文

1. 鈴木壹知: 生活習慣病としてのウイルス性肝炎. 越谷医師会講演会 2008.4.10 (越谷市)
2. 鈴木壹知: 生活習慣病としてのウイルス性肝炎. 朝霞地区医師会学術講演会 2008.4.16 (志木市)
3. 鈴木壹知: 分岐鎖アミノ酸製剤を栄養士がうまく使える為に必要なこと-食事と病態から- 第3回 肝臓病治療を考える栄養士の会 2008.4.19 (東京)
4. 鈴木壹知: 患者により良い栄養治療を行うために-NST vs 栄養治療- 八幡NST研究会 2008.5.19 (北九州市)
5. 鈴木壹知: チーム医療で取り組む肝臓病栄養治療. 第七回北大病院NST講演会 2008.6.13 (札幌)
6. 鈴木壹知: 肝硬変の治療方法-栄養管理を含めて- 医療生協さいたま 埼玉協同病院講演会 2008.7.14 (川口市)
7. 鈴木壹知: 慢性肝疾患における栄養治療の重要性~栄養士の役割~ 第55回日本栄養改善学会学術総会ランチョンセミナー2008.9.7 (横浜)
8. 鈴木壹知: 発癌防止を視野に入れた慢性肝疾患の治療~最近の話題を含めて~ 第一回東埼玉臨床医学懇話会 2008.10.3 (越谷市)
9. 鈴木壹知: 慢性肝疾患における糖代謝異常とその対策 第4回肝臓病治療を考える栄養士の会 2008.11.8 (東京)
10. 鈴木壹知: NSTで検査技師へ求められるものは? 第8回臨床化学検査研究班1泊研修会「海ホタルセミナー」 2008.11.9 (千葉)
11. 鈴木壹知: 生活習慣病に及ぼすC型肝炎の影響 C型慢性肝炎学術講演会 2008.11.20 (越谷市)
12. 鈴木壹知: 患者にとってよりよい肝臓病栄養治療を行うために 第12回日本病態栄養学会年次学術集会ランチョンセミナー 2009.1.11 (京都)
13. 鈴木壹知: NST業務のスキルアップを目指して「病態を考慮した栄養管理のポイント」-慢性肝疾患の栄養管理と経腸栄養剤の使い方- 第2回クリニコ臨床栄養イブニングセミナー 2009.1.28 (鹿児島)
14. 鈴木壹知: 肝発癌抑制を目指した肝硬変の栄養治療 第10回県南DDクラブ 2009.2.26 (川口市)
15. 鈴木壹知: チーム医療としての肝臓病治療 日本臨床検査技師会 NST講習会 2009.3.22 (東京)
16. 鈴木壹知: 肝硬変における栄養治療上の問題となる病態と対策 -肝性脳症患者の治療(入院から外来)-へ-

第5回肝臓病治療を考える栄養士の会 2009.4.4 (東京)

17. 鈴木壱知：肝硬変における分岐鎖アミノ酸を用いた栄養治療 ー患者にとってより良い栄養治療を行うためにー  
長野市薬剤師会平成21年度 第1回生涯教育講座 2009.4.21 (長野市)

教育・研究業績書

診療科名	職名	氏名	
越谷病院消化器内科	講師	高田 洋	大学院の研究指導担当資格 無
<b>Ⅱ 学会等および社会における主な活動</b>			
<p>日本内科学会員                      日本消化器内視鏡学会員                      日本肝臓学会員                      日本消化器病学会員</p>			
<b>Ⅲ 研究活動</b>			
<p>【学位論文】</p> <p>【著 書】</p> <p>和文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鈴木 壱知, 高田洋, 高橋純子, 桑山肇: 慢性肝疾患患者における胃食道逆流症の検討. 肝臓, 45:507-508, 2004.</li> <li>高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 桑山肇, 相馬良一: 「<math>\omega</math>3 多価不飽和脂肪酸の胃粘膜上皮細胞修復に与える影響」. Dokkyo J Med Sci, Vol. 31, No. 3:217-223. 2004.</li> <li>高橋純子, 高田洋, 桑山肇, 今井みゆき, 麗美希: 「肝疾患における栄養評価とQOL 慢性肝疾患患者の身体計測値の検討」: 大木智子, 鈴木 壱知 栄養-評価と治療Vol. 21, No. 6:569-571, 2004.</li> <li>鈴木 壱知, 高橋純子, 高田洋, 桑山肇: 「二次性骨粗しょう症 肝臓疾患に伴う骨粗しょう症」 日本臨床Vol. 62, 増刊号 2:728-731, 2004.</li> </ol> <p>【原 著】</p> <p>欧文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Ichimura H, Oka S, Takada H, Kuwayama H: Measurement of serum branched-chain amino acids to tyrosine ratio level is useful in a prediction of a change of serum albumin level in chronic liver diseases Hepatol Res 2008 38:267-272, 2008.</li> <li>Suzuki K, Suzuki K, Koizumi K, Takada H, Nishiki R, Ichimura H, Oka S, Kuwayama H: Effect of symptomatic gastroesophageal reflux disease on quality of life of patients with chronic liver disease Hepatol Res 2008 38:335-339, 2008.</li> </ol> <p>和文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鈴木 壱知, 高橋純子, 高田洋, 桑山肇: 「続発性骨粗しょう症 II 疾患と骨粗しょう症」. Bone Vol. 18, No. 3:303-306, 2004.</li> <li>高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 桑山肇, 相馬良一: 「<math>\omega</math>3 多価不飽和脂肪酸の胃粘膜上皮細胞修復に与える影響」 Dokkyo J Med Sci Vol. 31, No. 3:217-223, 2004.</li> <li>高橋盛男, 岡茂樹, 高田博信, 高田洋, 福田和仙, 黄海文昌, 相馬良一, 桑山肇: ラット酢酸漿膜内注入大腸炎モデルによる胃粘膜防御因子製剤の注腸投与有効性の比較検討. 潰瘍 32: 2, 149-153, 2005.</li> <li>K Suzuki, K Suzuki, K Koizumi, H Ichimura, S Oka, H Takada, H Kuwayama: Measurement of serum branched-chain</li> </ol>			

amino acids to tyrosine ratio level is useful in a prediction of a change of serum albumin level in chronic liver diseases Hepatol Res 2008;38:267-272

5. K Suzuki, K Suzuki, K Koizumi, H Takada, R Nishiki, H Ichimura, Si Oka, H Kuwayama: Effect of symptomatic gastroesophageal reflux disease on quality of life of patients with chronic liver disease Hepatol Res 2008;38:335-339

#### 【症例報告】

和文

1. 岡茂樹, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 高田博信, 高橋盛男, 高田洋, 鈴木尙知, 桑山肇: 「広範な大腸粘膜剥離をきたした虚血性大腸炎の1例」 Prog Dig Endosc Vol. 69 No. 1:92, 2006.
2. 片山裕視, 高橋盛男, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 高田博信, 高田洋, 鈴木尙知, 桑山肇: 「Von Willebrand病に合併した出血性貧血の原因となった胃過形成ポリープの1例」 Prog Dig Endosc Vol. 69 No. 1:87, 2006.
3. 鎌田昌和, 片山裕視, 鈴木一義, 小泉和人, 市村博紀, 岡茂樹, 田嶋章弘, 高田洋, 鈴木尙知, 高橋盛男, 桑山肇: nfliximabが著効したクローン病蛋白漏出症の1例. Progress of Digestive Endoscopy71巻1号:102, 2007.

#### 【総説】

和文

1. 鈴木尙知, 高橋純子, 高田洋, 桑山肇: 疾患と骨粗鬆症 ② 消化器疾患 ②慢性肝疾患. THE BONE, 18:303-306, 2004.
2. 鈴木尙知, 高田洋, 桑山肇: 肝炎治療の最前線-その実際 副腎皮質ステロイドによる治療. 消化器の臨床vol. 9 No. 3:317-319, 2006.
3. 鈴木尙知, 高田洋, 桑山肇, 内田幸江, 奥住裕二, 川村憲弥: 慢性肝疾患における血清アルブミン値測定の問題. 栄養評価と治療 23 : 521-523, 2006.

#### 【その他】